

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 新井 智

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2015年4月号
No.236

底上げ・底支え・格差是正を実現するぞ!!

中小労組春季生活闘争決起集会を開催



中小労組代表決意表明

結果にこだわり交渉を進める

群馬トヨタ労働組合 高橋副執行委員長

現在、景気は緩やかに改善していると言われてはいるが、中小企業はその恩恵を感じていないのが現状である。

月例賃金や一時金・退職金などについても依然として大手との格差が存在しており取り組みを強化する必要がある。



連合群馬に集う中小労組が一丸となって、今次春闘に取り組むため、3月20日前橋市内にて、中小労組代表者など約160名が参加し、中小労組春闘決起集会を開催しました。



冒頭、北川会長の挨拶にはじまり、春闘情勢を共有するとともに労組代表者2名からの力強い決意表明や中小闘争宣言を確認、そして世論喚起のため夕刻の市街にてアピールウォークを行いました。

この流れを中小に波及させることが重要

～春闘情勢報告～

連合群馬 金子事務局長

今春闘、先行組合の回答結果は要求金額には達しないまでも、昨年の水準を上回る結果となっており、順調なスタートは切れたと捉えている。

この流れを中小の交渉へ波及させていく必要があり、今後も連合・構成組織が一体となって取り組んでいきたい。



加えて中小企業は、人材こそが最大の財産であり、人材確保に資する労働条件の整備が必要であることを強く訴えていく必要がある。

今次春闘を共に闘い抜こう。

中小にも暖かい春を…



明星電気労働組合 中川執行委員長

中小企業を取り巻く環境は厳しいと言われてはいるが、リーマンショック後の価格転嫁については労使の努力により改善に向かっている。

今次春闘では大手が回答を示すなか、この流れに中小が続くことが出来なければ生活は良くならない。

中小の春闘は、これから本格的なヤマ場を迎えるが、熱き情熱を持って中小にも暖かい春が来るように元気に取り組んでいく。



宣言文を提案する
JP労組 渡辺事務局長

○ T L U 学習会各地協にて開催

総合生活改善を目指し、今年の1月～6月までの期間、各地域協議会ではTLU（トータルライフアップ）学習会を開催しています。

今年は、統一テーマ「労働者保護ルール改悪の問題点」と、雇用・労働条件・生活など幅広い視点で地協独自テーマを設け取り組んでいます。

また、年金問題も加え、年金積立金の運用に関する問題点も共有し、今後の取り組みにつなげて行きます。



学習会の様子



連合古賀会長×ニューリーダー

直接対話 in 群馬



ナショナルセンターオールジャパンのトップリーダー・古賀会長（以下：♂）を中心に青年委員会（以下：★）・女性委員会（以下：♀）の17名が、円陣を組むように椅子に座る。全国行動の通称「KNT47（koga NewLeader Talk 47）」の最終日となった4月4日、高崎市内ホテルで直接対話が始まりました。

KNT47の思いを語る

♂ 連合の運動方針を策定するにあたり、構成組織・地方連合会の役員の見解は吸い上げられるが、日本社会の課題で、超少子高齢・人口減少社会において、持続可能なシステムに組み替えていかなければならない。課題を提起した時に青年層に共感をいただいているのか疑念を抱いた。皆さんの手にかかっている。

非正規労働者が増大しすぎており、処遇もかなり低く、働く現場だけの問題ではない。社会保障の担い手が少ない、膨大な税金で生活を保障しなければならない。これからの労働運動を担う人、社会を支える人が働くことをどう感じているのか対話を進めていきたい。



職場に組合があると思わせる“対話”が重要

♀ 職場では、仕事はやるが組合活動はやらない、イベントに参加するが役員には興味がない。

★ イベントに参加して興味をもってもらいたいが参加すらない。目を向かせる活動が難しい。

♂ なぜAさん、役員になりましたか

♀ 順番性もありました子育て中ということもあり、実体験を伝え、活かしていきたいという思いがあった。



♂ それですよ！たまたま順番だったかもしれないけど、自分の経験を話すことで心を動かさないと。労力掛けずに「あなた役員ね」では通用しない。

あとと言えるのは、参加しないようなイベントをしないこと。その労力をどこに注ぐかも一度考えた方がいい。「若年層の組合離れ」ではなく「組合役員の若年層離れ」ですよ。もっと言えば「組合役員が組合員離れ」しているのではないのでしょうか。

30数年前に言われたことを思い出した。役員になって組合事務所にいるのではなく、現場の状況を把握して、組合として課題を共有しなければならない。そもそも労働組合は助け合いから始まった。原点に戻らないといけない。

組合が華々しいイベントをするのではなく、職場に組合があると思わせる。会社ができないことを側面からみて何か行動してくれる。それを感じることができるのが“組合”なんじゃないかな。そもそも役員だけで考えるからダメ。組合員も巻き込んで企画するプロセスが重要であり、組合員にも一緒に考えてもらいましょう。

♀ 企業内の組合員率が低く非組合員へオルグ活動をして、「親と相談します」と若者は自分で決められない。

★ 新任役員研修を実施しても意見を引き出すのが難しい。

♂ オープンショップの組合に加入してもらうのは大変とよく聞く。

正規と非正規を線引きしてはいけないように、組合員と非組合員を絶対に断絶してはいけない。

まずは対話することが大切。組合が全部課題解決できるわけではない。しかし一緒に悩んで課題を共有してほしい。

身近に感じる役員になる

★ 連合の認知度は低い。勉強しながら共有はしているが…。

♀ 組合は政治活動も盛んでびっくりした。



♂ もちろん、皆さんが連合を広めてもらうことも必要だが、極論から言えばイチ組合員が連合を知らなくていいのですよ。労働組合が何をしている！労働運動って何？ということあまり考えなくていいのではないのでしょうか。

身近な役員の一挙手一投足を見て労働運動を感じられなければならない。その積み重ねで連合を知ってもらえるはずなのです。皆さん一人ひとりが行動して作り上げていくことが労働組合運動です。

政治についてですが、現代は価値観が多様化している。教育、社会保障の問題、職場内だけでは解決できないですね。私たちの生活は政治と直結しています。我々が生きていくには「無関心はたやすい、しかし無関係ではありえない」ということ。

連合の柱でもある政治活動は、日々の組合活動の延長であることをもっと感じて欲しい。

最後に、私と皆さんの違いは、皆さんには時間がある。チャレンジが出来る。失敗も出来る。エネルギー・体力がある。スポンジのように吸収できるでしょ！連合会長は失敗できない。話して！本読んで！行動して！物事を意識すること！が重要です。この取り組みは皆さんのきっかけ作りでもあります。これからに期待します。

振り返って



非正規労働者も働く仲間。対話する場を増やし問題を共有し、会社側に日々伝えていく活動をしたい。

★ 多部田幹事（富士重工労組）

働く仲間自分たちの生活向上が労働運動（政治）に関わっているという認識を持ってもらうため理解活動が大切だと思った。

♀ 関口副委員長（東電労組）



今後も、この様な機会を連合本部につくっていただき多くの方に参加してもらい、違った意見も共有できればと思う。

★ 中山幹事（フレッセイ労組）

法改正のポイント

1. パートタイム労働者の均等・均衡待遇の確保

- ・業務の内容や責任の程度、および昇進や配置の変更など人材活用の仕組みが同じパートタイム労働者の処遇を、正社員並みに改善（一時金・諸手当等含む）

⇒パートタイム労働者の処遇見直しを求めることができます。

2. パートタイム労働者の納得性を高める措置

- ・事業主がパートタイム労働者を雇い入れる際、賃金・教育訓練・福利厚生等の説明を義務化
- ・事業主がパートタイム労働者の苦情対応担当者等を決め雇い入れ時に周知することを義務化

⇒パートタイム労働者が、自身の待遇について知る機会が増えます。

労使のコミュニケーション促進、待遇への納得度向上が期待されます。

☆実効性の確保として、厚生労働大臣の勧告に従わない場合の事業主名の公表や虚偽報告等に対する過料の創設がされています。

パートタイム労働法が 4月1日施行 改正されました。

連合はこれまで「パートタイム労働者の均等・均衡待遇の確保」に向けて、法律改正前から懸念点の解消を図るよう審議会等で発言を行い、また、重要性について社会に広く訴えてきました。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け一歩前進が図られました。

改正法の内容以外でも指針で対応されています。

- ・均等確保から外れた「通勤手当」についても努力義務とされていること。
- ・パートタイム労働者が事業主に説明を求めたことを理由として解雇や不利益な扱いをしてはならない。

第18回統一地方選挙 群馬県議会議員選挙結果

4月3日告示、12日投開票で実施された群馬県議会議員選挙は、連合群馬推薦候補者9名・支持1名のうち、推薦候補者9名が当選しました。産別・構成組織、地協の皆さまにはご理解とご協力をいただきありがとうございました。

選挙区	所属	氏名	得票数	当落	備考
前橋市区	日教組	本郷 高明	9,132	当選	新人 1
	前橋地協	小川 晶	14,885	当選	現職 2
高崎市区	自治労	後藤 克己	14,878	当選	現職 3
	高崎地協	角倉 邦良	10,995	当選	現職 3
桐生市区	桐生地協	井田 泰彦	10,934	当選	新人 1
伊勢崎市区	伊勢崎地協	加賀谷富士子	8,884	当選	新人 1
太田市区	自治労	黒沢 孝行	10,748	当選	現職 6
	太田地協	あべ ともよ	13,745	当選	現職 3
渋川市区	渋川地協	金子 渡	10,773	当選	現職 2
富岡市区	富岡地協	矢野 英司	7,221	次点	新人

衆議院議員 宮崎タケシのマジメひとすじ NO.3

「維新の党」の女性議員が、病気を理由に本会議を欠席しながら旅行に出かけていたという疑惑が浮上、大ニュースになっています。一年間の国会で最大のヤマ場は予算案の採決。予算案は3月13日、自公などの賛成多数で衆議院を通過しましたが、何とこの最も重要な本会議を欠席していました。

予算の採決では与野党対立がピークに達して混乱が生じるため、民主、自民など各党は所属議員に「禁足」を命じ、国会周辺に留まることを義務付けるのが通例です。

ちなみに、私も過去に一度、診断書つきの「欠席届」を出して国会を休んだことがあります。初当選直後の特別国会で、インフルエンザにかかったためです。「無理にでも出席しましょうか？」と聞いたら、党から「うつるから来るな！」と言われましたが…。

なにはともあれ、2015年度予算は4月9日、参議院で成立しました。圧倒的多数の議席を持つ自公が年度内に予算を成立させられなかったのは、閣僚らの不祥事で審議が長引いたため。今のところ国会の主導権は民主党が握っています。

さて、私はといえば一ヶ月間に4回もの委員会質問をこなし、東京五輪の自転車競技をグリーンドーム前橋で開催するよう訴え、群馬大学病院の腹腔鏡手術死亡問題で再発防止策をただしました。



また、大問題となっている免震ゴムのデータ偽装問題をトップバッターで質問し、徹底的に追求。偽装があったビルの視察も行い、肉眼で免震ゴムを確認しました。

(4月9日寄稿)

今、なぜ「1000万連合」なのか!

実現目標年度まで 2回シリーズ
あと、4年余り その1

『仲間』を増やすことは労働組合の原点

勤労者は、日本国憲法において、「団結する権利」および「団体交渉」その他の「団体行動」をする権利が保障されています。これが労働3権です。

勤労者は、使用者（会社）と個人が契約を結び仕事を行いその対価として賃金を得て日々生活を営んでいます。

しかし、使用者との契約においては、「使用者と労働者は対等である」と民法に規定されていますが、労働者の立場は弱いため、労使間における対等性を確保するため、労働3権を活用して労働組合を結成し、労働条件など交渉し決定していきます。

『連合』結成の意義

企業内での活動を通じて、労働者がより良い生活・豊かさが実感できるようにするため、労働条件や働く上での問題や課題を解決するため、労使交渉により職場改善活動を行います。

しかし、労働法制や税制など政策や制度により我々の生活に直結する問題も多々あり、制度改善などを行わないと我々の生活はよくなるため、より暮らしやすい世の中の構築をめざして、企業や産業の枠を超え、組織労働者が大同団結し、『連合』が結成され政策実現に向けた様々な取り組みを行っています。



連合が結成され、25年（四半世紀）が経過しますが、長期化する景気低迷を受け、雇用構造が変化し、正社員からパートや有期雇用の非正規労働者の増加により、連合の組織人員も減少しています。

結成の趣旨を活かし、『連合』の影響力を高めるためには、組織拡大が欠かせません。

『企業内』における組織化の課題

現在は、雇用形態の多様化に伴い、非正規労働者の増加が進んでいます。

企業内における活動については、正規・非正規にこだわらず、同じ職場で働く仲間の声に耳を傾け、職場環境の改善に取り組む必要があります。

このことは、現在、企業内における労働者の代表として、使用者との交渉を行っていますが、同じ企業で働く労働者を仲間としてともに活動していかなければ、従業員の代表としての役割は果たせません。

職場内の問題として捉え、同じ職場で働く仲間への支援を強め、さらなる活動の強化を行うことが重要であり、今、求められている活動であると言えます。

職場から組織全体へと労働者の声を広げ、活動強化を進めていきましょう。



2015連合群馬ふれあいフェスティバル

開催日・場所
決定

～働く仲間のかで、活力ある地域づくり～

5/24

桐生 笠懸野文化ホール
伊勢崎 あずま総合運動公園
沼田 川場村体育館
館林 明和町ふるさとの広場
渋川 渋川スカイランドパーク

藤岡 ららん藤岡
富岡 富岡小学校・体育館
安中 松井田文化会館
吾妻 バンテック文化ホール

5/31

前橋 前橋公園 みどりの散策広場
高崎 もてなし広場
太田 太田市新田陸上競技場

※詳しくは随時ホームページに掲載します!



「安心して働きたい・暮らしたい国」
「メーデーと連合群馬ふれあいフェスティバル」

労働者の祭典といわれるメーデー。その起源は、1886年5月1日に合衆国カナダ職能労働組合連盟（後のアメリカ労働総同盟が、シカゴを中心に8時間労働制要求の統一ストライキを行ったのが起源とされています。1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、1日のうち8時間は仕事のために、8時間は休息のために、そして残りの8時間は、我々の自由な時間のためにを目標に労働者が立ち上がり、後の1889年の第二インターナショナル創立大会で労働者の国際的連帯としてデモを行うことを要請、これが決議され、労働者の権利を主張する運動、また、国民がその時々々の要求を掲げ団結と連帯の力を示す日として継続・発展してきました。

連合群馬は、「メーデー集会」について、その主旨や目的が形骸化しつつあり、時代に合った開催とするようメーデー行事に関する改革論議により、連合群馬（労働組合）の存在感を高め、地域社会に見える活動を展開することを目的とする行事として取り組むこととしました。

具体的には、労働組合の活動を広く地域住民に知っていただくため、全く新しい県民との交流の場、フィールドを提供すべく、2001年度に抜本的な見直しを行い、動員型から参加・体験型への転換をはかり、広く県民・地域住民の参加を求め地域社会に共感が得られる取り組みとして展開してきました。

そして、県央での開催を踏まえ、2004年から県内12地区にある、連合群馬地域協議会（地協）の主催により開催し、今年で15回目となります。

名称についても、「ぐんまふれあいフェスティバル」から、主催団体の名前を前面に出し一昨年から「連合群馬ふれあいフェスティバル」へ変更し開催してきました。

また、メーデーが持つ歴史的な意義やその趣旨・目的については、日常的な運動の中しっかりと受け継ぎ取り組みを進めて来ているところです。

（新井）